

企画展 「子どもの時のおもひで」を読みとく展 ―津田左右吉生誕 150 年―

会 期：2023 年 4 月 8 日（土）～5 月 28 日（日） 〈44 日間〉

会 場：企画展示室

観 覧 料：無料

展示点数：148 点

入場者数：1371 人



【内容】

歴史学者として大きな功績を残した津田左右吉（1873～1961）は、今年生誕 150 周年を迎えます。津田は 12 歳で小学校を卒業して名古屋に進学するまでの多感な少年時代を加茂郡栃井村（現在の美濃加茂市下米田町東栃井）で過ごしました。昭和 35（1960）年には美濃加茂市の名誉市民第一号となっています。

津田は美濃加茂で過ごした子供時代を、晩年になってから「子どもの時のおもひで」という文章に綴っています。「子どもの時のおもひで」では、津田少年を育んだ自然の風景、小学生時代の勉学について、そして津田自身が「やまが」と呼んだ下米田での津田家の暮らしぶりなど、さまざまな内容が語られます。この文章は『おもひだすまゝ』という本の付録として津田が 75 歳の時に刊行されたものですが、津田の見ていた景色や経験が鮮やかに描かれており、ここに記された内容は、津田にとって忘れがたく思い出深い記憶であったのだと思われます。また、津田が過ごした生家は移転され、現在は津田左右吉博士記念館として公開されています。

今回の展覧会では、津田が残した「子どもの時のおもひで」から、津田の記憶に残る情景や経験についての文章をひもとき、津田少年が接した美濃加茂の風土や小学生時代に受けた教育などが、のちに歴史学者として大成する津田にどのような影響を与えたのかを考えます。また、「子どもの時のおもひで」の記述を、歴史学などの研究成果や地域の様子と照らし合わせながら、「子どもの時のおもひで」の歴史史料としての側面にも迫りたいと思います。

時代を超えて津田左右吉の「おもひで」が私たちに語りかける声を皆様にお届けできれば幸いです。

【関連事業】

□朗読会 「子どもの時のおもひで」

津田の記した「子どもの時のおもひで」の朗読を行いました。

4 月 23 日（日）14：00～ 会場：みのかも文化の森・研修室 参加者：8 人

□津田左右吉の生家見学会

現在津田左右吉記念館となっている津田の生家へおもむき、間取りや当時の柱などを見学しながら明治時代の津田少年の暮らしに思いをはせました。

4 月 30 日（日）14：00～15：30 講師：溝口正人氏（名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授）

会場：津田左右吉博士記念館 参加者：15 人

□講演会「刻印された故郷 ―津田左右吉と下米田―」

津田左右吉の中に残る下米田の情景についてお話しいただきました。

5月14日（日）14：00～15：30 講師：早川万年氏（元岐阜大学教育学部教授）

会場：みのかも文化の森・研修室 参加者：25人

□ゆかりの地巡り

美濃加茂市には、生家以外にも津田左右吉とゆかりの深い土地が多く残されています。「子どもの時のおもひで」にも綴られた左右吉の思い出をめぐりました。

5月27日（土）14：00～15：30

会場：美濃加茂市下米田町東栃井 周辺（集合は文化の森エントランスホール） 参加者：15人

□ミュージアムトーク

担当学芸員が展示室をご案内しました。

4月16日（日）①10：00～11：00 参加者：7人

②13：30～14：30 参加者：8人

5月19日（金）①10：00～11：00 参加者：13人

②13：30～14：30 参加者：2人

会場：みのかも文化の森・企画展示室

【刊行物・ミュージアムグッズ】

展示図録 A4判 6ページ 販売価格 200円

【展示品】

No.	資料名	年代	出版社	所蔵
1	美濃加茂市名誉市民表彰状	昭和 35 年（1960）		館蔵
2	美濃加茂市名誉市民章 写真	撮影年不詳		館蔵
3	「若き津田左右吉像」 作：杉山詩乃	平成 15 年（2003）		館蔵
4	津田左右吉著『おもひだすまゝ』	昭和 24 年（1949）	岩波書店	館蔵
5	「子どもの時のおもひで」原稿	年代不詳		館蔵
6	津田左右吉著『朝鮮歴史地理』 第壹巻	大正 2 年（1939）	南満州鉄道株式会社	館蔵
7	津田左右吉著『朝鮮歴史地理』 第貳巻	大正 2 年（1939）	南満州鉄道株式会社	館蔵
8	津田左右吉著『神代史の新しい研究』 全	大正 2 年（1939）	二松堂書店	館蔵
9	津田左右吉著『古事記及び日本書紀の新研究』	大正 8 年（1919）	洛陽堂	館蔵
10	津田左右吉著『神代史の研究』	大正 13 年（1924）	岩波書店	館蔵
11	津田左右吉著『上代日本の社会及び思想人物名』	昭和 8 年（1933）	岩波書店	館蔵

12	津田左右吉著『儒教の實踐道德』	昭和 13 年（1938）	岩波書店	館蔵
13	津田左右吉著『蕃山 盆軒』	昭和 13 年（1938）	岩波書店	館蔵
14	津田左右吉著『日本上代史研究』	昭和 13 年（1938）	岩波書店	館蔵
15	津田左右吉著『支那思想と日本』	昭和 13 年（1938）	岩波書店	館蔵
16	津田左右吉著『古事記及日本書紀の研究』	昭和 14 年（1939）	岩波書店	館蔵
17	津田左右吉著『道家の思想と其の展開』	昭和 14 年（1939）	岩波書店	館蔵
18	『白鳥博士記念論文集』	昭和 19 年（1944）	東洋協會學術調査部製作所	館蔵
19	津田左右吉著『學問の本質と現代の思想』	昭和 23 年（1948）	岩波書店	館蔵
20	『オリエンタリカ 2』	昭和 24 年（1949）	東洋史学会	館蔵
21	『文藝春秋 八月號』	昭和 29 年（1954）	文芸春秋新社	館蔵
22	津田左右吉著『思想・文藝・日本語』	昭和 36 年（1961）	岩波書店	館蔵
23	「津田系図」	年代不詳		早稲田大学図書館蔵
24	陣羽織	江戸時代		館蔵
25	陣笠	江戸時代		館蔵
26	つづら	江戸時代		館蔵
27	箆笥	江戸時代		館蔵
28	短刀（津田家勢以の守り刀）	年代不詳		館蔵
29	せいから娘・はるへ宛てた手紙	昭和		館蔵
30	鉄瓶	年代不詳		館蔵
31	紙さし	年代不詳		館蔵
32	せいの作った人形	昭和		館蔵
33	「竹腰林」傍示	年代不詳		個人蔵
34	机	明治 15 年（1882）		館蔵
35	『論語』 1～4	元禄 8 年（1695）		館蔵
36	『孟子』 1～4	元禄 8 年（1695）		館蔵
37	『中庸』 全	元禄 8 年（1695）		館蔵
38	『大学』 全	元禄 8 年（1695）		館蔵
39	硯	年代不詳		館蔵
40	そろばん	年代不詳		館蔵
41	矢立て	年代不詳		館蔵
42	下米田尋常小学校学籍簿	明治 6 年（1873）～ 明治 22 年（1889）		館蔵
43	下米田尋常高等小学校沿革誌	明治 6 年（1873）～ 昭和 38 年（1963）		美濃加茂市立下米田小学校蔵
44	小学校書籍目録	年代不詳		美濃加茂市立下米田小学校蔵

45	文部省編纂、師範学校彫刻『小学読本』 巻 4	明治 6 年 (1873)		美濃加茂市立下米田小学校蔵
46	師範学校編輯『萬国地誌略』	年代不詳	文部省	美濃加茂市立下米田小学校蔵
47	『絵本小栗一代記』 上中下	年代不詳		館蔵
48	文明小学校卒業証書	明治 19 年 (1886)		館蔵
49	文部省蔵版『古事記』	昭和 13 年 (1938)	文部省社会教育局、社会教育会	美濃加茂市立下米田小学校蔵
50	指原安三 著『明治政史』	明治 25 年 (1892)	二六富山房書店	美濃加茂市立下米田小学校蔵
51	『十八史略』 1～7	年代不詳		館蔵
52	『新刻 蒙求 再版』 上中下	寛政 2 年 (1790) 再版		館蔵
53	『増補 正文章軌範評林』 1～ 3	年代不詳	岡本明玉堂、岡本群玉堂	館蔵
54	津田左右吉著『神代史の新しい研究』 全	大正 2 年 (1913)	二松堂書店	館蔵
55	地引絵地図 加茂郡東栃井村第十大区六ノ小区	明治 6 年 (1873)		館蔵
56	太政官布告 [第 384 号 ～ 第 385 号]	明治 6 年 (1873)		館蔵
57	津田博士と尾関対談 録音テープ	昭和 32 年 (1957)		館蔵
58	スライド「郷土の光 津田左右吉博士」	昭和 32 年 (1957)		館蔵
59	尾関公見「津田先生のご両親」(『津田左右吉全集第 24 巻 付録』)	昭和 40 年 (1965)		館蔵
60	スライド解説冊子「郷土の光 津田左右吉博士」	昭和 59 年 (1984)		館蔵
61	尾関公見「スライド編輯の追憶」原稿	昭和 59 年 (1984)		館蔵
62	津田左右吉博士顕彰会設立総会記念事業案内チラシ	昭和 59 年 (1984)		館蔵
63	津田左右吉博士顕彰会便り	昭和 59 年 (1984)		館蔵
64	津田左右吉賞作文コンクール 募集チラシ	令和 4 年 (2022)		館蔵
65	津田左右吉賞 作文集	令和 4 年 (2022)		館蔵



〔写真 1 企画展示室〕



〔写真 2 企画展示室〕



〔写真 3 企画展示室ウォールケース〕



〔写真 4 関連行事・ゆかりの地めぐり〕

【アンケート結果】(全 113 枚)

選択設問から

① 展示の資料・作品の見やすさ（配置、明るさ、空間など）にご満足頂けましたか？

・満足	52
・ほぼ満足	41
・ふつう	17
・やや不満	2
・不満	0
・無回答	1
計	113

② 展示の資料・作品の分かりやすさ（解説、説明、パネルなど）にご満足頂けましたか？

・満足	53
・ほぼ満足	41
・ふつう	17
・やや不満	1
・不満	0
・無回答	1
計	113

③ 展示の資料・作品から満足感（感動、発見、知的刺

激など）が得られましたか？

・満足	46
・ほぼ満足	45
・ふつう	29
・やや不満	1
・不満	0
計	121

④ この展示を他の人に伝え、来館を勧めたいと思いますか？

・大いに	44
・少し	45
・どちらともいえない	23
・あまりすすめたくない	0
・すすめたくない	0
計	112

自由記述から

- ・ 明治初期の日本の様子を子供の目線からではあるが、伺い知ることが出来た。江戸時代までの漢文読み下しが「文明開化」と思われる明治時代でも引き続き行われていたことは、新たな発見であり、教育が津田先生のなかにより良く働いたと思われる。学術的業績や名誉市民に賞されることも、津田先生の榮譽をたたえるために大変重要なことではあると思うが、明治初期の社会と教育についてスポットを当てた企画・展示は、コロナ禍を経て混迷すると思われる現在、時期を得た良いものと思います。新聞、テレビ等の報道でもっと広く世に周知して、多くの人々に見に来てほしいと思います。
- ・ とても分かりやすかった！津田さんの事が改めて知られる機会ができた。
- ・ とっても位置は良いのですが、文字の大きさを大きくして、老人に見やすいかもしれません。文章や手紙は「虫めがね」を付けるなど観らん者にうれしいサービスが必要かも。”くぎり”をしっかりとくみため見方がよいです。例えば、ここのゾーン、そこのゾーン、Aゾーン、Bゾーン、Cゾーン等、つけてもらえると、よりみやすくなります。
- ・ 美濃加茂の生まれの功績を残した方とか全く知らなかったもので少しでも知ることができたのでありがたかったです。
- ・ おもいで よかった。身近に感じられる。
- ・ 学芸員の方のトークを聞いたうえで見学すると理解が深まることを改めて実感しました。
- ・ 説明員の分かりやすい案内に良かったと思います。
- ・ 分かりやすく展示され、大変良かった。
- ・ 津田博士の「子どもの時のおもひで」が手に取るように理解できました。学芸員のミュージアムトークもとても分かりやすいご説明でした。感謝いたします。生家見学会やゆかりの地巡りにもぜひ参加させていただきたいと思います。宜しくお願いします。
- ・ 1856-1948、母親の死亡年齢が93となっているが満では91か92ですね。(左右吉の年齢はすべて満年齢)
- ・ 初めて伺いましたが、とても親せつで安心してみることができました。無料はすばらしいです。びっくりしました。
- ・ 少し離れているものの文字がよく見えずに残念。
- ・ たまたま立ち寄り企画展を拝見しましたが、津田氏については何の知識もなく、最初はさ程の興味もないかと思いましたが、当時の暮らしぶりや津田家の人々の人となりを知るにつけ、大変おもしろく読むことができました。丁度、いま、放送中のらんまんに近い時期でもあり、小学校のことなど照らし合わせて考えたりもしました。ありがとうございました。
- ・ 小学生にも読めるようふりがな等があると子供を連れて来たいと思います。
- ・ 津田左右吉を知っていても具体的に美濃加茂と縁があると知る人は少ない。美濃加茂の下米田や東栃井の界限を知っていても津田左右吉の生育地であるとする人は少ない。この縁を解るに相応しい展示だったと思います。Good job！
- ・ 人形がとても小さいのに丁寧に作られていてすてきでした。パネルがとても多くてすべて読み切れず…準備が大変だっただろうなと思いました。文字から想像する時間も日常ではなかなかゆっくり取れないので、良い気分転換になりました。
- ・ 地名がわかるよう地図もあるとうれしい。
- ・ しっかり調べてあり、細かい点まで知ることができるものと感じた。
- ・ 説明文の文字が小さく見辛かったです。太い字にするか文字を大きくしてもらえると助かります。よろしくお願いします。
- ・ 大変見ごたえのある充実した内容でした。
- ・ 学芸員の方の説明がすばらしかった。
- ・ ありがとうございます。解説者に御礼。感謝。
- ・ 勉強になりました。早稲田大との関係があり興味深かったです。
- ・ 昔のなつかしい物が見られてよかったです。
- ・ ありがとうございます。
- ・ 昔のことが知れてうれしい。
- ・ 津田左右吉が美濃加茂ゆかりの人物であることを知り、改めて、美濃加茂市近辺の歴史・人物に興味を持った。
- ・ 昔の人々の暮らしや生活を知って、今と違いたくさん苦労があったんだなと思いました。そして左右吉さんはとても人思いの人だったんだなと感動しました。
- ・ 説明文字を大きくしてほしいです。
- ・ 文字がもう少し大きいとよい。
- ・ 友人から展示会のことを聞き、歴史好きの一人として楽しんで訪れました。津田氏のことは少しだけ話を聞いていましたが、この企画展でよく分かりました。とても勉強になりました。大変ありがとうございました。次の企画展を楽しみにしています。とにかく津田左右吉はすごい！
- ・ 知らなかった美濃加茂の歴史や事柄に触れることができ感激しました。
- ・ 原稿用紙がなつかしいと思った。夫人に浄書（清書）してもらっているなど家族も協力していることが分かった。漢文体の日本外史を小学校のころ読んで一番面白かったと言っていることにおどろきました。父-文明小学校の教師、母-裁ホウの先生など下米田で地元の人から尊敬されていたので、小学校卒業まで暮らすことができた。途中で名古屋へ帰ったら津田左右吉博士は誕生しなかったかも？分かりやすい解説でよくわかりました。ありがとうございました。

- ・美濃加茂に住んでいながら知らないことが多いですね。勉強になりました。
- ・説明がわかりやすく、知らないことも多く、興味深かった。ありがとうございました。
- ・よかった（予想外）
- ・難しいですが、雰囲気を楽しめて楽しかったです。生の字が見れ、人間性を感じられました。
- ・以前、この展示を見来たときは、とても配置や資料がわかりずらくなっており、「コース」を作る意見をしましたが、2度目いこうは、パネルや作文のどこのはなしなのかも分かりやすく、展示の人が工夫していて、とても良かったと思う。津田さんの銅像模型とかあれば、もっとしんみになれそう。どういう家に住んでいたかや、津田さんの人生の写真をパズル等で分かりやすくもっと見たいと思った。一つのスペースで、今まで展示をしてきましたが、もう一つのレンジスペースも使って、大きな展示をしてない。人による文化、サイエンス（科学）協力していただければ、学校の取り組みでパズル感覚で、展示するのもいいかも。人が来やすいよう、一度せんちやく順でキネンヒンをプレゼントするというのもやってみたら、人も来るのかな？と思った。
- ・津田左右吉博士について関心があり来館しました。元主君の竹腰氏の来訪のところは初めて知りとても興味深くみました。
- ・津田左右吉と尾張藩、とりわけ付家老竹腰家とのかかわりまた「同好会」のメンバー細野要斎のかかわりがわかり面白かった。
- ・特にタツワカ様の話が興味深かった。わたし達はほぼ全部のパネルを読んで楽しんだがそのような方は少ないようであった。旧かな使いが難しいのか？子どもの時のおもひでとしては十分であったがもう少し研究のことも知りたかった。
- ・米田白山に登った時にみかけた「竹腰林」の石のことが個人的に気になっていました。今回の企画展がきっかけで津田家が竹腰家に仕えていたことを知りました。展示の内容から、竹腰家についてもくわしくすることができ、ずっと疑問に思っていたことが解け、すっきりしました。下米田のこと、津田先生のこととも改めて知ることができ満足です。